

問39 自由意見

問39 男女共同参画社会実現のためのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

・145件の回答があり、意見分類した結果意見総数は223件となりました。最も多い意見は「市政、行政関係」で31件、次いで「男女共同参画について」(27件)、「アンケート調査について」・「男女平等、差別」(26件)となっています。以下に、意見内容を分類した表と、カテゴリーごとに主な意見を抜粋した表を掲載しています。

※意見総数は「特になし」を除外しています。

<意見グループ一覧>

1	市政、行政関係	31件
2	男女共同参画	27件
3	アンケート調査	26件
4	男女平等、差別	26件
5	教育関係	18件
6	子育て	11件
7	尊重しあい、思いやり	10件
8	多様な性のあり方	6件
9	広報、啓発	6件
10	その他	63件
11	特になし	17件

<主な自由意見>

市政、行政関係			
1	男性	20歳代	企業が「育休」に対して前に比べると取得しやすい世の中になってきたが、業務負荷によって取りやすさが部署によっても異なるという現実があります。行政として介入は難しいかもしれませんが法整備等、仕組みを検討いただけると幸いです。
2	女性	30歳代	問33のような質問、行政の発信方法がとてやり方が昔すぎる。もっと民間や市民へどういうふうと一緒に進んでいけるか、聞き耳をもってもらえるか、若者層へのアピール、アプローチの方法など考えるべき。私達市民で利用できるもの、支援等はほしい。もっとわかりやすく利用しやすいようにしてほしい。
3	女性	40歳代	学生のうちは、比較的男女平等に生活していくと思うが、入る会社によって男女平等の意識に差が大きく、そこで失望する人も多いと思う。会社規模に関わらず、こうした意識改革をすることができるような研修を、行政が出来たら良いのでは。
4	男性	50歳代	池田市が実現したい男女共同参画社会とはどういう姿のことを示すのか？まずビジョンを明確にすることが大切だと思います。

男女共同参画			
1	男性	30歳代	男女共同参画という言葉が抽象的かつ高尚すぎて具体像が全く伝わってこない。政治家が具体的フェーズに落とし込んで国民的議論を起し、その結果を政策に反映していくようにしないと社会は変わっていかないとと思う。
2	女性	50歳代	「男女共同参画社会」この名前がわかりにくい。
3	女性	50歳代	今世の中は男性を上を考え、できるシステムが多すぎる。女性が外へ出て、働くということは、いろいろな障害がありすごく大変なことだと思う。家庭での女性の仕事は男性よりも多いと思う。それを理解して、いろいろなことが決まれば良いと思う。女性にも体力の限界はある。

アンケート調査			
1	女性	40歳代	問12については人によって対象とする家事、育児、介護の内容がバラバラで同じ行為を行っていても時間に含めたり含めなかったりするのではないかと。またアンケートに回答している時の精神状態によっても変わってくるので、現状を反映するものではないと感じる。
2	男性	60歳代	アンケートの質問が多すぎる。時間に余裕のある人しか答えようと思わない。数回に分けるとか質問の項目を目的別に分けるとか配慮が必要だと思います。
3	女性	70歳以上	現役世代への特化したアンケートをするべき。アンケート依頼で終わらず、結果報告が大事。

男女平等、差別			
1	女性	40歳代	人権は男女平等であるべきですが、やはり、男女の区別は必要です。男性が得意な事、女性がやった方が良い事もあるので、それぞれの良さを認め合い、協力してより良い世の中を作ろうという教育をしてほしい。男も女も必要ですから。
2	女性	50歳代	ジェンダー平等への意識が皆ふつうになっていくといいと思います。女性でも家事が不得意な人もいるので、「女性は家事ができて当たり前、家事をするべき」という考えが当たり前ではないという様になってほしいです。家事が不得意（男性レベル位ある位）な女性を、常に周りからどうして皆の様に（他の女性の様に）旦那や他の家族の分の家事をしないの？と聞かれ続けるという様にならない社会になってほしい。
3	男性	50歳代	なんとなく今の時代、女性〇男性×みたいな感じがします。特に中高年の男性で成功している人とそうでない人の差を感じます。男性でも困っている方、つらい立場の方が多くいらっしゃると思うので女性と同じくらい力をいれてもらいたいと思います。

教育関係			
1	女性	40歳代	何が何でも行政に頼りすぎ！他人の事を考えたり、迷惑をかけない道徳的な事を中心に教育の中身を精査したほうがよい。あまりにも世の中自由が広く勘違いが多すぎ。自由とは一定のルールの中でお互いを助ける尊重する事。教育の問題。
2	女性	40歳代	小学生からの学校教育において子供を産むことができるのは女性だけで、これからの日本の少子化問題を考えると女性の存在が本当に大切であることや女性を大事にすることなどをもっと教えてほしい。
3	男性	40歳代	家庭に根付いた男女の役割分担意識と職場における同様の意識をゆるやかに変えていくことが必要と考えており、学校教育などがその役割を任うのではないかと思う。

子育て			
1	女性	30歳代	子供の虐待について、ニュースで聞かたび苦しくなります。子供を守る、むやみに子供を作らないように性教育の充実、周囲が協力して子供を守るなど、子供に対する教育が大事でその幸せに子供が暮らせることが1番大切でないでしょうか。
2	女性	30歳代	池田市において私が個人的に困っていることは小学校3年生までしか「留守家庭児童会(なかよし会)」に入会できないことです。小学4年生以降の受け入れの場として、長期休みなどに石橋にあるツナガリエなどでイベントを開催したり、大学生からボランティアを募り宿題をみんなでやってみて大学生ボランティアの人に補助してもらおう等、そんな場があればいいなと思っております。周りでも「小1のカベ」に続き「小4のカベ」で悩んでおられるので、ご検討いただけるのであれば幸いです。また協力させてもらえることがあればお声かけください。
3	女性	40歳代	子供が小4以降は学童保育を使用できず、池田市での子育てに限界を感じています。何とか早急に小6まで学童保育を利用できるようになりませんかでしょうか。よろしくお願いします。
4	女性	40歳代	夜間保育施設があれば安心して働けるのにと何度も思いました。
5	女性	40歳代	今回の事とは違いかもかもしれませんが、子育て支援は幼児ばかりでなく高校生以上でもしてほしい。今の日本は収入が、上がりにくいなか大学にかかる費用があがっていて、一番お金がかかります。子供に借金を抱えて社会人になってもらうのは嫌なので、市は給付型などで、学びたい子は費用を気にせず行ける環境を整えてほしい。

尊重しあい、思いやり			
1	女性	40歳代	近頃、男女問わず、以前に比べると自分のことしか考えられない人や身勝手な考えをする人が増えていると思います。あくまで個人の問題として捉えなければならぬ事も多々あると思います。男女平等という言葉でさえどうなんだろうと思ったりもします。男女問わず、老若男女全ての人が平和に暮らせる世の中になってほしいです。実際に男だからできること女しかできないことなどもあるので平等と言ってもなかなか難しいと思います。お互いを尊重していけたらいいです。
2	男性	40歳代	完全な男女平等は不可能だと思いますが、性別にこだわることなく、相手を思いやる気持ちを皆が持てる社会になれば少しずつ良い社会になると思います。
3	女性	70歳以上	家庭生活において役割分担は一応決めても、その時の体調や疲れの程度等思いやりを持ってフレキシブルに補いあうようにしていく。

多様な性のあり方			
1	女性	20歳代	男女と分けて考えず、全員を一人の人間として皆が考えられる社会がいつか訪れる、そう願って暮らしています。
2	男性	40歳代	性差と性差別を混同せず、不都合な事を差別にすりかえないでほしい。性差をなくすような活動を改め、男らしくありたい、女らしくありたい人の存在を無視しないでほしい。それが多様性ではないか。男女平等と言いつつ、女性優位な事柄を無視し、男性ばかりに妥協を強いるべきではない。
3	男性	50歳代	ゆくゆくは性別にかかわらず（LGBTQ）の視点も含めた大きな枠で見ていく必要性を感じます。まずは男女におけるジェンダー格差をどのように狭め融合させていくのか。古い昔ながらの習慣にとらわれず、良いところはそのままに変えるべき点は今の時代に合ったものに改善していくことで、お互いがより良い関係でいられ生きていくことのできる街になればたいへん嬉しく思います。いつも市民のためにご尽力いただきありがとうございます。

広報、啓発			
1	男性	40歳代	現状では池田市が男女共同参画社会実現に横断的に取り組んでいるようには生活をする中で感じたことはないのによりPRや一般に認知される場での活動が必要となると思います。社会的な風潮としてやらざるを得ないから取り組んでいるという域を出ていないように感じます。まずは行政に関わる全ての人材に男女共同参画の意識が根付くところから初めてください。
2	女性	60歳代	まず、行政機関や支援機関の存在を知ってもらえる様な働きかけ（ex.SNSなど）をすることが、大切だと思います。そしてもっと利用できるように勉強会や世間のハードルを下げることにフォーカスした活動も必要だと思います。助け合うということを持て、子供の頃から体験させることで（ex.ボランティア参加）もっと普通のこととして世間に広まるのではないかと思います。
3	男性	70歳以上	気長に啓発を続け、時には罰則も必要かと思う。

その他			
1	女性	20歳代	災害時に女性が性被害に遭いやすく、実際に受けた人が多いとSNSで見たことがあるため、災害時の性被害防止は強化するべきだと思う。
2	男性	20歳代	ひと昔前は男性が働き、女性が家事をするのが当たり前という時代でしたが、現在は労働者の賃金が低く、男女ともフルタイムで稼がなければ生活が成り立たない状態と考えます。男性が家事を行い、女性が働きに出て、一家を支えるに十分な収入を得られる経済的な余裕があれば男女不平等の問題の多くが解決すると考えます。
3	女性	30歳代	このようなアンケートは非常に希望が持てますので、どうぞ、将来のためにお役に立てたいと思います。応援していますので、どうぞよろしくお願いします。
4	女性	30歳代	妻が家計を支えている家庭の場合、妊娠、出産の際に収入がなくなる為、生活が維持できない。出産手当がでるにしても給料の満額ではないし、手当での支給も出産から数か月後ととても遅い。夫だけが黒柱であるという概念を取っ払った制度改革をしてほしい。
5	女性	30歳代	日本の女性の人権、地位が低く、特に賃金が低いこと、出産、子育てによるキャリア断絶、意思決定機関に女性がいない（ゼロ）ことが非常に問題であると思います。行政、公の相談窓口は往々にして男女の固定観念でアドバイスをする人がいると思います。その点、まずは振り返っていただき、日本の女性がどのような辛い立場にあるか理解に努めることが大事だと思います。
6	女性	30歳代	問38の機関についてどのような時にどう利用したらよいかを知らない。ハザードマップのようにヘルプマップ、サポートマップというようなわかりやすい案内等を転居時、出産時、就学時、その他のイベントなどで配布してもらうなどでもっと身近になると思う。各施設が参加するふれあい（？）お祭り?のようなイベントがあるととても近い存在に感じると思う。
7	男性	30歳代	ふえる物価や増税に対して、不安定な年金などにより将来を託す子供を産むべきか不安な時代です。

その他			
8	男性	30歳代	会社に長く勤める期間が長くなると社外での人との交流がなくなり、こういった問題や人や自分の悩みにも向き合える時間や余裕がなくなってくるので、気軽に参加しやすい交流の場を設けて、今この世代の人が何に対して不満や悩みを持っているのかを男女ともに文章やSNSなどのデータだけでなく、リアルタイムでの声を聞いてデータとして取るのもよいと思います。堅苦しい参加だと人も声も集まらないと思うので、各方面の趣味の場に集まっている人などの声からも気楽に聞いたりするのもよいと思います。
9	女性	40歳代	まだまだ男尊女卑の世の中だと思います。特に年配の方の意識を変えるのは至難の業ではないでしょうか。若い方々に教育をして世代が変わるのを待つしかないように思います。
10	女性	40歳代	池田市は産婦人科、婦人科が少ないのであってくれると助かります。
11	男性	40歳代	妻は、働きたくても私の扶養から外れる事を恐れ、働く時間が制限されてしまうので経済的な自立はできない。
12	男性	40歳代	扶養制度の見直しや労働に対して収入制限をしなければいけない体制を改善し、男女雇用機会均等法が正しく機能出来る仕組みを作る。男性女性それぞれの視点からでしかわからない事を話し合う事で男女が相手の事を理解する事が大事。
13	女性	60歳代	ダイバーシティセンターをもっと活用すべき。
14	女性	60歳代	不安を抱えてる人の受口がもっとあたりまえのように使えるような環境が作ればよいと思いますが、なかなか一步が踏み出せない事が多いです。「広報いけだ」はしっかり見てますが、そのことを大きく取り上げる回もあってよいのでは？相談できるきっかけになるのでは？
15	女性	60歳代	悩み（家庭内の事）を持っている人はなかなか発信しづらく、自分一人で抱え込み易い。特に男性は人に相談することを恥と思い、客観的な視点で自分の言動を観ることがない為、自分自身を正しいと思っているのではないか。男性のコミュニティを作っていくことが大切だと思う。
16	男性	70歳以上	困ってる人は各々事情があり、一概に原因を決めつける事は危険。やはり個別にキメ細かい対応をすることが基本と思う。上記より原因の究明と対策の優先順位を抑え、具体策を実行する！